

# 第61回 全出版人大会 開催

2022(令和4)年5月13日(金) 於ホテルニューオータニ



出版クラブ会報  
No.612

## ■大会会長の挨拶

コロナ禍以前のかたちで

大会を開催できることのよろこび



野間省伸

(のま・よしのぶ)

### 主な記事

- ▽第61回全出版人大会開催  
(挨拶)野間 省伸・千葉 均、堀内 丸恵、大坪 嘉さん、一〇六 小野寺 優、木村 広樹さん
- ▽知らないと損する！労働法と社会保険法 ― 待った無し！令和四年一月からの改正法について②― 川端 重夫・六〇七
- ▽第61回全出版人大会講演レポート「コロナの日々」角野 栄子さん・八〇八
- ▽出版歳時記 本格化するAI発注……

第61回全出版人大会は、2022年5月13日(金)午後3時より、3年ぶりにホテルニューオータニ・鶴の間で開催され、出版関係者約300名が参集した。

式典は、野間省伸大会会長による挨拶にはじまり、千葉均大会委員長(ポプラ社社長、日本出版クラブ理事)による挨拶と大会声明朗読のあと、長寿者祝賀と永年勤続者の表彰がおこなわれ、引き続き、「コロナの日々」と題し、児童文学作家・角野栄子氏による講演が催された。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から懇親会は開催されなかったが、チャージングな角野氏のお話に参加者一同引き込まれていた。

本日は、皆さまにはお忙しい中、またお足元の悪い中、全出版人大会にご出席いただき、誠にありがとうございます。3年ぶりに、ここ、ホテルニューオータニで、全出版人大会を開催する運びとなりました。新型コロナウイルス感染の拡大により、一昨年の2020年の第59回全出版人大会は、やむなく中止。昨年の第60回大会は、参加人数を極端に絞り、出版クラブホールにて開催いたしました。ようやくこのような形で開催することができ、大変うれしく思っております。

長寿祝賀の皆さま、また永年

勤続表彰の皆さま、本日は誠にありがとうございます。皆さまの長年にわたる出版界へのご貢献に、大会を代表して、厚く御礼を申し上げます。

この後、日本出版クラブの理事であり、ポプラ社代表取締役社長の千葉均様から、大会委員長のあいさつ、大会声明を頂戴いたします。地球規模の観点に立ち、出版業界はもろろんのこと、人類全体の持続可能性を考える素晴らしい大会声明です。また、その後の記念講演では、国際アンデルセン賞作家賞を受賞された、児童文学作家・角野栄子さんにお話を頂きます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、恒例の懇親会は、今年度も中止といたしました。本日は出版業界の来し方行く末を考える機会となれば幸いです。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。(講談社社長)

ハイブリッドもリアルも、会議にはぜひ出版クラブをご利用ください  
ご予約は  
Tel 03-5577-1511

■大会委員長の挨拶

## 「調和と持続」を

## コンセプトとして



千葉 均  
(ちば・ひとし)

第61回全出版人大会におきまして、大会委員長の大役を仰せつかりました、ポプラ社の千葉と申します。よろしくお願いいたします。本日お集まりのご長寿祝賀の方々、それから永年勤続表彰の方々、誠におめでとございます。皆さまの長年にわたる出版界への貢献に対して、深く敬意を表します。

大会委員長の仕事というのは、大きく3つございます。1つ目が、後ほど読み上げますけれども、大会声明を起草してそれを読み上げること。2つ目が、記念品であります、風呂敷のデザインをすること。それから3つ目、これがとっても大切なのですが、後ほど行われます、講演会の講師を選んでお願いすること。この3つの大きな仕事があるわけなんですけれども、大会委員長を引き受けるときに、「さあ、これは大変なことになった」ということで、その3つの仕事に際し、やはりコンセプトが大切であろうというふう

思い、そのコンセプトをどうしようかということ考えたわけです。

その背景については、後ほど読み上げます、大会声明のほうをご覧いただきたいというふうに思うのですが、結論といたしましては、「調和と持続」、これをテーマにして、今回はその3つの仕事をやってみようということになりました。「調和と持続」、なぜそれを選んだのかという、今、私たちが直面している、地球規模の課題というのがあるんですけれども、それは、簡単には解決できないものだと考えています。

私が思うに、それは、目に見えないもの。それから、今の目の前にない物事に対して、きちんと共感を持ってそれを見ること。あるいは、その人たちの営みを想像すること。そういうことが足りていないから、こういう問題が生じているのだからと考えます。逆に言えば、この問題を解決するためには、われわ

## 大会声明

かつて、多くの人が希望に溢れる未来を思い描いていました。現代を生きる私たちは自分たちの未来についてのどのような展望を持っているでしょうか。情報技術の進化は、私たちの生活にほんの数十年前でさえ想像できなかった大変革をもたらしました。市井の人々の小さな幸せの場面が一瞬で地球の裏側まで届き、共有される。このような科学技術の進歩は、人と人を繋ぎ、人類をこれまで成しえなかった幸福に導いてくれるのでしょうか。期待に反し、現代においても大国が問題解決に武力を用いることにより、無辜の市民の命が奪われ、人権が著しく侵害される状況があらちから生じています。それに対して国際世論は一致に非難の声を上げ、人権が蹂躪された側を支援する動きが生まれます。これは、武力行使や人権侵害、言論弾圧など精神の自由を脅かす行為は絶対悪であるという確立された価値観が多くの人たちの間で共有されているためです。

しかし一方、森林伐採や化学物質の大量使用による環境破壊や、無軌道な化石燃料の消費による温室効果ガス濃度の上昇が、生物多様性の喪失や気候変動等を招き、このままでは私たちの文明社会を持続することができないとさえ言われています。このような人類全体の存続を脅かす問題について未だ有効な手が打てずにいるのはどうしてなのでしょう。それは、これらの問題を引き起こしているのが私たちの生活そのものであるからです。これまで絶対善と考えられてきた自由競争や経済成長は半ば無自覚に「自然環境や経済弱者からの収奪」を基盤としていました。社会の持続可能性を脅かすものが私たち自身の生き方に起因するものであるのだとしたら、この問題を解決するには価値観のアップデートが必要になるでしょう。それは例えば「競争と成長」よりも「調和と持続」が上位に来るといったものかもしれません。

文明社会の持続可能性の問題も、出版業界の持続可能性の問題も根は同じだと考えられます。自由競争の名のもとに、「自分だけよければ」「今だけよければ」という行動を続けた結果、どこかに過度な負荷がかかり、「エコシステム」全体の健全性が損なわれたことが出版業界の今の状況をもたらしています。持続可能性を高めるために必要なことは、エコシステムを形成する人や要素ひとつひとつに思いを馳せ、システム全体の構造を理解することです。そのことを世の中に浸透させるために、私たち出版人はこのような論点や価値観を広く紹介し未来の可能性を広げる議論をする場を提供するとともに、自分たちがこれらの課題にしっかりと向き合い議論し行動してまいります。出版業界の持続可能性を高めるための議論や行動を通して、人類全体の持続可能性を高めることに資することも私たちの大切な役割です。

人間社会だけでなく、自然や宇宙を構成する要素ひとつひとつの営みを想像し、理解することは、人の学びそのものであり、人生の大きな喜びに繋がります。学びの原動力である、ものごとの中に神秘さや不思議さ、面白さを見出す感性、すなわち「センス・オブ・ワンダー」は、多種多様な良質のコンテンツと出会うことで生誕伸ばすことができるものです。私たちは出版活動を通して、人々がコンテンツと出会うあらゆる機会や環境を守り、世界中の人々にその感性の種を届け続けます。そしてこのことが、地球規模の問題を解決し、私たち人類の希望の光となることを確信します。

二〇二二年五月十三日

れ一人一人が、目に見えないものからのメッセージというのを感じる。あるいは、今、そこにいない人の暮らしを想像する。そういうことが重要なんだろうというふうに思います。

というわけで、「調和と持続」ということをテーマに、3つのことを考えたのですが、まず一つ目、風呂敷についてです。原画はまえのまりさんという方で、この方はイラストレーターで、たくさんの本の挿画ですとか、あるいは雑誌の表紙画、これを手掛けられております。2011年に他界されたのです

が、まえのさんの作品には、今回、風呂敷に選んだ原画もそうなのですが、音符をモチーフにしたものが多いんですね。音符というものは、そこからイメージされるものというものは、人と人が響き合って、あるいは人と自然が響き合って、ハーモニーを生む。それから、音符のつながりというのは、命のつながりのような、そういう循環というものを想起させます。ということで、「調和と持続」というテーマにとってもふさわしいというふうに思っています、原画として選びました。後ほどご覧いた

だければと思います。もうひとつ、大切な仕事の講演会なんですけれども、こちらは、講師の方を、私が最も敬愛する作家の一人であります、角野栄子先生にお願いすることにいたしました。「調和と持続」ということに関して言えば、レイチェル・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』という本がございまして、私はこの本がとっても大好きなんですけれども、昨年、新潮社さんが文庫にしてくださいました。その、昨年刊行された新潮文庫の『センス・オブ・ワンダー』に、角野先生が、

とても素敵な文章を寄せられているんですね。その中で、角野先生がおっしゃっているのが、『センス・オブ・ワンダー』というのは、レイチェル・カーソンが、子どもたちに、目に見えないものからいろんなものを感じる力、それを期待してプーストするような、そういう本であるというふうにおっしゃっています。しかしながら、私は『センス・オブ・ワンダー』だけではなくて、角野先生の作品全てに、そういう願いが込められているというふうに感じています。私が今回、「調和と持続」と

いうテーマで、この仕事をお引き受けしようと決心した瞬間に、私は、その『センス・オブ・ワンダー』の角野先生の文章を思い出しまして、これは、ぜひ角野先生にご講演をお願いしなければと思った次第でございます。ということで、後ほどの講演も、ぜひご期待いただきたいと思っております。私は、何よりも角野先生のお話を聞くのが大好きなので、その理由が一番だったりますけれども。 それでは3つ目の仕事である、大会声明を朗読させていただきます。(ポプラ社社長)

■長寿者祝賀の辞

人に伝える力を

出版界の次の世代のために



堀内丸恵 (ほりうち・まるえ)

第61回全出版人大会にあたり、長寿のお祝いをお受けになりました17名の皆さま、おめでとうございます。また、59回、60回の長寿者として今回ご参加いただいた13名の皆さまにも、心よりお祝いを申し上げます。皆さまは、昭和、平成と、日

本の出版界の変動の歴史と共に歩まれてこられました。出版の世界は、戦後に大きく成長を遂げ、90年代後半から縮小に転じました。その後の出版界は、少子化やデジタル化、携帯電話の進化、コンビニや宅配便の拡大などと、さまざまな変化に直面

してきました。そうした社会の変化の中でも、皆さまは数々の出版物を世に送り、出版界に貢献されてきました。皆さまがこれまで出版界で担われてきた役割は、本当に大きかったと思います。今、コロナ禍やウクライナの戦禍が続いていますが、その中で注目される書物も数多くあり、出版物の重要性や必要性がより高まっていると思います。こうしたことも、長年出版物で文化や知識、情報を伝えてこられた皆さまのお力があつたからこそだと思います。いかにデジタル社会になろうとも、これまで皆さまが培ってきた情報や知識、物語を、形にして人に伝える力や広める方法は、出版界の

次の世代のための大きな糧となるに違いありません。 人生100年の時代と言われていますが、70歳はまだまだ若い世代だと思えます。今後も出版界を見守りながら、後輩たちに、機会があれば、ご助言を頂ければ幸いに存じます。皆さまのこれまでのご経験を、出版界の未来にお役立ていただければと思います。 最後になりましたが、これからも健康で充実された日々を送られますよう、皆さまのますますのご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。 本日は、本当におめでとうございませす。(大会副会長、集英社会長)



2022年(令和4年) 第61回 全出版人大会

## 長寿者代表の謝辞

## 変革の波を乗り越えて



大坪 嘉

(おつぱ・ただし)

第61回全出版人大会におきまして、長寿者祝賀を受けました17名と、60回、59回の出席者13名を代表いたしました。一言御礼を申し上げます。まず、本大会の開催にご尽力いただきました、全ての関係者の方々に、心より感謝申し上げます。

またご来賓、ご参加の皆さまにも、心より御礼申し上げます。大変丁寧なる、またありがたい長寿者祝賀の辞を賜りまして、誠にありがとうございます。大変立派な大会声明の後で、一体どのようなお話をすればよいのか悩んでおりましたところ、会長さまより、入社より歩んできた足跡についてお話いただければとのお言葉を頂きましたので、私事になりますが、お話をさせていただきます。他の長寿者の方も、同じような経験をされていると思います。私は、大学が工学部で、将来は研究者かエンジニアの道に進もうと思っておりましたが、父の勧めもありまして、うちの会社に入る事となりました。私

が入社したのは、昭和49年、1974年でした。当時、わが国は第1次オイルショックのただ中で、出版社は用紙の確保に奔走しておりました。当社も製紙メーカーとのつながりを大切にすることということで、入社初日に父である社長と兄の専務に連れられて、とある料亭で接待の席に出来ました。芸者さんのいる宴席で、先方は大手製紙メーカーの部長さんでした。入社初日、右も左も分からず、大変緊張して接待したのを思い出します。内心、「えらい会社に入ったな」と思いました。

現在のようなキャラクターディスプレイは付いていなくて、電卓のような数字のディスプレイと、電動タイプがあるだけでした。コンピュータ言語も、フルという独特な言語を使っており、命令は全て数字の組み合わせで記述していました。基本的な命令セットは少なく、ほとんどの機能を一から作らねばなりませんでした。



その後、基幹業務はNECのオフコンを経て、IBM、そして現在はクライアントサーバーのシステムへと移行しております。経理部では、まだそろばんを使って計算していたと思います。当時のベテラン総務部長は、手書きで大変きれいで、正確な数表を書いておられたのを覚えています。私も入社当初は、計算尺をそろばんに持ち替えて練習をしていましたが、とてもそのようなきれいで正確な作表はできないので、アメリカ製のパソコンを購入し、会社を持ち込み、表計算ソフトを用いて、前年対比や予算シミュレーション等の計算をしたのを覚えております。今では、1人1台のコンピュータが当たり前の環境になっており、書籍、雑誌ごとのほぼリアルタイムな販売状況、採算状況を画面で見られるようになっております。隔世の感があります。

学校部門では、教室での授業から、カセットテープを用いた通信講座へ、そしてインターネットを利用した通信講座を開発しました。合わせて、出版のホームページのウェブショップも立ち上げました。本を見ながら、ウェブページのコーディングを、コードを書いていくのは、今では大変楽しい思い出です。初めは何となく入社したのですが、新しいことに次々とチャレンジでき、毎日が刺激的で、充実しておりました。今では、当社に入社して、この業界に入っただけでよかったなと思っております。その間、出版部では、従来からの雑誌、書籍の出版を、大きな変化なく継続できたのは、ある意味、本当に幸運だったと思います。

(税務経理協会副社長)

## ■永年勤続者表彰の辞

大いなる想像力と深い思索を  
武器として社会の変化に対応を

小野寺 優

(おのでら・まさる)

本日、第61回全出版人大会において、永年勤続の表彰を受けられた336名の皆さまに心より感謝とお祝いを申し上げます。また、本日は第59回、第60

回大会において永年勤続の表彰を受けながら式典に参加できなかった皆さまもご出席とのこと、あわせてお祝いを申し上げます。

皆さんは各社から推薦を受けた勤続15年以上の方々と同じくおられます。この15年というのは、社会が、出版界が大きな変容を遂げた時代でした。本格的なデジタル化の到来により、情報伝達の方法が変わり、出版物の作り方、売り方が変わり、出版物そのものも大きく変わりました。外的環境に目を転じたとしても東日本大震災をはじめとした多くの災害があり、新型コロナウイルス感染症の拡大は今も続いています。過去の出版人が経験したことがない事態を乗り越える中

で、皆さんは出版界の伝統だけでなく、それに縛られない視点と社会の変化に対する鋭敏な感覚、対応する術を身につけてこられたのではないのでしょうか。今、世界は多くの問題に直面しています。ロシアのウクライナ侵攻問題、さまざまなハラズメント問題、社会的格差の問題、そして環境問題。時に言論が封殺され、暴力がはびこる時代です。そんな時代に必要なのは正確な情報と大いなる想像力、深い思索と言論による多様な意見の交換です。そしてそのよすが

となるのは出版物です。ネット上にフェイクニュースが溢れる時代だからこそ出版という仕事の重みは増しているのです。そんな中、皆さんの活躍の場はますます広がってゆくことと思います。今後、皆さんがこれまで得た知見を活かして出版界を牽引し、多くの価値ある出版物を世に送り出してくださいことを祈念し、お祝いの言葉いたします。

本日は、誠におめでとうございます。

(大会副会長、河出書房新社社長)

## ■永年勤続者代表の謝辞

日々の努力によつて積み上げて  
いく時間を大切に

木村 広樹

(きむら・ひろき)

本日は、永年勤続の表彰をいただき、誠にありがとうございます。僭越ではございますが、表彰者を代表してお礼の言葉を申し上げます。

私が入社したのは、2006年10月でした。配属先は製作管理部という部署です。資料の調達、印刷・製本の進捗状況を見る部門でございます。

入社した10月は、3版大辞林

の刊行月ということもあり、社内先輩たちは、慌ただしく働かれておりました。当時の私は、広辞苑の存在は認識してはいたが、大辞林についてはというと、とらえ切れていない状況でした。

刊行前の大辞林の現物を見た時、広辞苑より判型が大きく、本文は3000ページ近くあり、重量は約2.8キロ、厚みは製

本機械の限界値いっぱい80ミリ、というその姿に圧倒されたことを覚えております。と同時にこの書名の担当者は責務が大きく、大変であることを感じました。正直このような書籍の担当は担いたくない、と思いました。

しかし入社後3年目を迎えた時のことです。大ベテランの辞書部門を担当されていた先輩が退職され、私が後任として担当することとなりました。入社して2年で、多少の経験は積みましたが、辞書は使用している資料も、造本の仕様も、今までの書籍とは別物でありました。初めて聞く用語も多くあり、戸惑いの日々でした。

本文用紙は通常の書籍用紙よりも格段に薄く、本文のページ

数が多いため、用紙の厚みが数ミクロン違うだけで、事前に設計された書籍寸法とは変わってしまいます。よって、用紙の生産にあたっては、「厚みの誤差をださずに生産して欲しい」と代理店・メーカー担当者へ要望を出します。

毎分300メートル近い速度で抄造されていく中で、1000分の1ミリの厚みに、誤差が出ない様に生産して欲しい、ということとは酷な話かもしれませ

ん。表紙はビニール素材が多く、寒暖差で材料が変形してしまいます。秋から冬にかけて発注数量は多くなりますが、寒暖差が生じる季節で、なおかつ熱をかけて加工がされるため、作業は慎重を期して行われます。

印刷・製本の業務においても、平日頃より多数の方々にご協力いただいております。出上がってきた品物を見ると、携わっていただいた皆様に、感謝の念でいっぱいになります。

入社以来、年間200書名を超える発注をおこなってきておりますので、のべで、3000書名を超えたということになります。世間的に名の知れた書名もございますが、そうでないものも多数ございます。ただし、どの書名に対しても、購入される方々に喜んでいただけるよう、取り組んできたつもりでございます。

2012年には、本屋大賞を受賞した「舟を編む」の映画化の話があり、本日この会場に同席しております、弊社社長の瀧

本(当時は出版局長)を中心に、映画制作に協力させていただきました。「舟を編む」は、皆様もご存じかと思われませんが、辞書編集者の物語でございます。私も映画スタッフの方と、用紙メーカーへ訪問し、実際の業

務の様子を見ていただく、という貴重な体験をさせていただきました。映画は2013年に上映され、翌年2014年の日本アカデミー賞で、最優秀作品賞に輝きました。感慨もひとしおでし

た。「三省堂」の社名は、中国の古典「論語」の一節「吾日三省吾身(われ日にわが身を三省す)、という言葉から採られたもので、「不忠、不信、不習について、日に幾度となくわが身

を省みる」という意味です。弊社は昨年140周年を迎えました。諸先輩方の一日一日の努力によって、積みあがってきた時間であります。私自身、初心を忘れず、精進してまいります。最後になりますが、本日永年

勤続を表彰された皆様のご活躍と、業界の発展を祈念して、謝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。(三省堂製作管理部)

## 知らないと損する！労働法と社会保険法

### 待った無し！令和四年一月からの改正法について②

特定社会保険労務士

川端重夫

(かわばた・しげお)

〔四月一日よりの改正から〕

#### パワハラ防止措置の義務化

・パワハラ の定義と六類型

職場におけるパワハラとは、①「優越的な関係を背景とした言動」であって、②「業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの」により、③「労働者の就業環境が害されること」この三要素の全てを満たすものとされています。但し、客観的に、業務上必要かつ相当な範囲での業務指示や指導はパワハラには該当しません。

パワハラに該当する代表的な言動として、①暴行等の「身体的な攻撃」、②暴言等の「精神的な攻撃」、③無視する等「人間関係からの切り離し」、④業務における「過大な要求」、⑤

仕事を与えない等の「過少な要求」、⑥プライベートに過度に介入する等の「個の侵害」の六類型に分類されます。

・事業主の対応は

事業主に求められているのは、パワハラ防止措置ですから、事業主は①職場におけるパワハラの内容、パワハラを行ってはならないとの方針を明確に示し、管理監督者を含む労働者に周知・啓発すること、②職場におけるパワハラに係る言動を行った者については、厳正に対処するとして、その対処の内容として就業規則、服務規律等を文書に規定して、管理監督者を含む労働者に周知・啓発すること、の措置を講ずることになっています。

〔服務規律の例〕

第0条

職場内及び職場外において、職権等の力関係を利用した嫌がらせやいじめなどにより、他の社員に不利益や不快感を与えたり、職場環境を害したりするような行為をしてはならない。

〔懲戒規定の例〕

第0条  
あらゆるハラスメントの禁止規定に違反し、改善の見込みが無いと会社が判断したときは、懲戒解雇に処す。

・管理・監督者への研修を

管理監督者研修において次のような行為をしてはならないと注意しましょう。部下と話すときには、「人格等を侵害(非難)するような言葉は使わない、大きな声は出さずに、指導する態度にも十分気を付けて、指導は

平等に、感情的にならずに、時間は短時間で等)。人格は決して否定してはいけません。

#### 厚生年金保険法の改正から

・六十歳から六十四歳の

在職老齢年金について

再雇用後の賃金と在職老齢年金との合計額が二十八万円を超えること、超えた金額の二分の一が年金から控除されるという「支給停止基準額」が二十八万円から四十七万円に引き上げられました。

・受給開始年齢の拡大

公的年金の受給開始年齢は、今迄は原則として六十歳から七十歳の間で自由に選択ができました。六十五歳より早く受給を開始した場合は「繰り上げ受給」として減額され、最大二十四%減額されます。六十五歳以後受給を開始した場合は「繰り下げ受給」として最大四十二%増額

されています。今回の改正で、七十五歳まで拡大され、七十五歳受給開始した場合は、「八十四%増額」されることになりました。

・在職時改定の導入

老齢厚生年金の受給権を取得した後に就労した場合は、資格喪失時(退職時又は七十歳到達時)に、受給権取得後の被保険者であった期間を加えて、老齢厚生年金の額を改定していましたが、就労を継続したことの効果を退職を待たずに、毎年一回十月分から改定することになりました。

例えば、標準報酬月額二十万円で一年間就労した場合、年金は一年間で一万三千円増額されますが、十月分より、月額一千百円程度加算して支給されます。就労中は、毎年十月分から増額されます。

#### 令和四年度の

##### 年度更新の留意点

法改正により、雇用保険料率が前期(四月から九月)と後期(十月から令和五年三月)で異なることから注意して下さい。

令和四年度の賃金総額の見込み額が令和三年度の賃金総額の二分の一以上二倍以下の場合、前年度の賃金総額の二分の一の額に前期の雇用保険料率、後期の料率を乗じて得た額を合

算した額が、雇用保険分の概算保険料となります。

賃金総額の二分の一の額に千円未満の端数が生じた場合は、前期の額を切り上げ、後期の額を切り捨てます。また、保険料額に端数が出た場合は前期・後期を合算し、その合算した額に一円未満の端数が出た場合に切り捨てます。

なお、前期・後期の見込み賃金額に相違がある場合は、それぞれの賃金総額を算出して、前期・後期の保険料率を乗じて下さい。一般の事業の保険料率は前期が千分の九・五、後期が千分の十三・五です。

### 女性活躍推進法の義務化

常時雇用する労働者数百人以上の一般事業主に、行動計画の策定と届出等が義務付けられました。

まず、女性労働者の「活躍状況を把握」しましょう。

- ①労働者に占める女性比率
  - ②平均勤続年数の男女比
  - ③月別の平均残業時間数
  - ④課長以上に占める女性比率
- 以上を分析して会社の課題を見つけ、どのテーマで行動計画を策定するかを検討します。行動計画は、二年から五年位の期間を設定します。

例えば、残業時間が多いと分析結果が出たので、このテーマで行動計画を策定します。

①計画期間は三年間

### ②目標と取組内容

目標は、労働者一人当たりの月平均時間を〇時間以内とする。取組内容としては、

- ①ノーマル残業デーや定時退社を呼びかける
- ②業務の分担の見直しや仕事の進め方を検討する

このように策定した行動計画を「社内周知」と「外部公表」を行います。また、策定した「一般事業主行動計画策定届」を都道府県労働局に届出します。

### 短時間労働者への適用拡大

従業員数百人以上の企業を「特定適用事業所」とし、次の要件に該当する者は、健康保険・厚生年金保険の被保険者となります。

- ①週の所定労働時間が二十時間以上三十時間未満の者
- ②月額賃金が八万八千円以上（残業代・賞与・臨時的賃金は含まない）
- ③二か月を超えて雇用される見込みのある者
- ④学生でないこと（休学中・夜間学生は対象になります）

なお、従業員規模を判断するには、月ごとに従業員数をカウントし、直近十二カ月の内六か月で基準を上回ったら適用対象となります。一度適用対象になったら、従業員数が基準を下回っても引き続き適用対象。但し、被保険者の四分の三の同意を得

て、対象外となります。

### ・その他

- ①令和六年十月からは従業員数は五十人超となります。
- ②弁護士・税理士・社会保険労務士等の法律・会計事務所も適用業種とされました。
- ③二ヵ月以内の期間を定めて使用され、当該定めた期間を超えて使用されることが見込まれない者を適用除外とし、雇用契約期間が二ヵ月以内であっても、実態としてその雇用契約の期間を超えて使用される見込みがあれば、当初から適用対象とします。

### 育児・介護休業法の改正から

#### ・出生時育児休業の創設

子が一歳に達するまでの育児休業とは別に、子の出生後八週間以内に四週間（二十八日）まで取得可能である柔軟な育児休業として「出生時育児休業」が創設されました。この制度の対象は主に男性となりますが、養子の場合には女性も対象になります。これに伴い「パパ休暇」は廃止されました。

この制度を利用するには、①子の出生日又は出産予定日のいずれか遅い方から八週間以内の子と同居し、養育する者が対象となります。但し、日雇労働者は除きます。なお、有期雇用労働者の場合は、出生日から起算して八週間を経過する日の翌日から六ヵ月

を経過する日までに契約が満了することが明らかでない場合に対象となります。労使協定の締結を条件に次の者は除外できます。

- ①雇用期間が一年未満の者
- ②申し出から八週間以内に雇用関係が終了する者

#### ①週の所定労働日数が二日以内の者

②申し出は原則として、休業開始日の二週間前までに行います。但し、労使協定を締結することにより、一ヵ月前の申し出も可能です。この休業は二回に別けて取得できますが、二回分まとめての申し出が必要です。

後日二回目の申し出をした場合では、事業主は拒否することができません。

③労使協定の締結を条件に、所定労働時間内の時間帯に限り、休業期間中の所定労働日・所定労働時間の半分までを上限として就業することができます。

具体的には、労働者が休業開始予定日の前日までに「就業可能日」「その可能日の就業可能時間帯やその他の労働条件」について申し出をします。事業主はその申し出の内容を検討し、速やかに会社の案を提示し、それに労働者が同意することで就業することができます。

事業主が提示した日時で就業するよう労働者に強要した場合は法違反となります。・不利益取扱の禁止

今回の改正で、妊娠・出産の申出をしたこと、出生時育児休業の申出・取得・出生時育児休業期間中の就業の申出・同意をしなかったこと等を理由とする不利益な取り扱いが禁止されています。

#### ・育児休業の分割取得

令和四年十月一日以降、子が一歳までの育児休業について理由を問わず二回に分割して取得できるようになりました。男性の場合は、出生時育児休業を含めると合計四回の休業が可能です。

・一歳（一歳六ヵ月）以降の育児休業延長、再取得  
今迄の休業は一歳（一歳六ヵ月）に達する日の翌日に限定されていましたが、今回の改正で十月一日以降、配偶者が一歳（一歳六ヵ月）以降育児休業を取得している場合は、その配偶者の休業終了予定日の翌日以前の日を育児休業開始日とすることができます。各期間の途中で配偶者と交代又は同時期に育児休業を取得することができるようになります。

・育休中の社会保険料は？  
十月一日から「月の末日」に育休等を取得している月に加えて、同じ月に育休等日数が「十四日以上」ある月も社会保険料の免除対象となります。  
賞与の社会保険料免除は、「連続して一ヵ月超」の育休等の取得が要件となります。  
（川端社会保険労務事務所所長）

# 出版歳時記

▽かねて注目されてきた書籍受発注へのAIの活用が本格化してきている。カルチュア・コンビニエンス・クラブは、今年6月から本部一括発注の店舗約六〇〇店を対象に、新AI発注システム「Huda（イリイダ）」を稼働した。出版物の仕入れに本格的なAIを導入するのは国内では初めてではないかと思われる。

▽果たして機械に本の仕入れができるのか。誰も感じる疑問であろう。新刊や定番品の自動発注などは一般化しているものの、書店員の「目利き」が重視されるような仕入れが可能なのか。きわめて多品種で、日々新商品が登場し、繰り返して購入されることがほとんどない出版物の特性を考えれば、容易でないことは想像に難くない。

▽一方、将棋の世界では人がAIに勝つことが難しくなっているようだ。一定のルールが支配するゲームであれば、どれだけパターンを知っているかが勝敗を左右するので、人間より記憶力や検索力が優れたコンピュータが優位に立つのもわかる。

## 本格化するAI発注

▽一見、そうしたルールがないように見える分野でも、きわめて多い事例から法則性を見つけ出すことができれば、自動化が可能になる。コンピュータの性能が上がれば、記憶量が増え、処理速度が速くなるにつれて、複雑な事象から法則性を見つけ出すことも容易になってくるのである。

▽書店店頭でのもう一つの自動化として、セルフレジの導入がある。いままですら入っていたレジカウンター業務を、セルフレジを導入すると一人でできるようにするなど、人件費を削減できる。売上げが低迷するなかで、そこまで手を付けざるを得ないという書店が増えてくる。

## 編集雑記

☆第61回全出版人大会は、おかげさまで3年ぶりにホテルニューオータニで開催することができました。参加者の皆様、ご協力いただいた皆様、心より御礼申し上げます。

☆ボプラ社さんにご尽力いただき記念講演では角野栄子さんにお話しいただきました。ピンクのワンピースの若々しいお姿、素敵でした。中でも印象に残ったのが「イ

を得ないという書店が増えてくる。

▽AI発注が人の仕事を軽減する点になると、やはり人件費の削減に結び付くであろうか。苦境にある書店経営者にとっては選択せざるを得ないことなのかもしれない。

▽オンライン書店や電子コンテンツの登場によって、書店に求められる価値は変わった。かつて求められた「最寄り性」や「網羅性」から、「専門性」や「個性」、「居心地」などが重視されるようになってくる。

▽そうした価値を提供するのは「人」の力であらう。これからの書店は、むしろ「人」への投資こそ大切になるのではないだろうか。そういう意味では、AI発注やセルフレジは、そうした「人」の力がより発揮できるためのツールとして機能してもらいたいものだ。

☆関東では早くも梅雨が明けました。気象庁の長期予報によれば、今年の夏は暑くなる可能性が高いようです。一方で政府からは節電要請。つらい夏になりそうです。どうかご自愛ください。(横)

☆6月3日の理事会、28日の評議員会が昨年度の事業報告ならびに決算報告が承認されました。コロナ禍でありましたが、なんとか黒

## 第61回全出版人大会 講演レポート 「コロナの日々」 角野栄子さん



この日、目にも鮮やかなピンクのワンピースをお召しになった先生は、講演者用の白いコサージュを胸に付けながら、控室に集まった人たちに「このお花、似合うかしら」とお聞きになりました。その姿は少女そのもので、これから壇上へのぼる、少々緊張気味の大会役員の皆さんを和ませていました。

講演がはじまる約40分前の式典の冒頭から、先生は一番前の席にお座りになり、ご挨拶をされる方々と、表彰を受けられる方々にずっと拍手を送られていました。そして講演の冒頭では「皆さん、いろいろとお支えいただきましてありがとうございます。また、本日はおめでとうございます。また、本日はおめでとうございます」とお言葉をかけられていました。そのやさしさに出席者一同感激しました。

コロナ禍で外出がままならなかったこの2年半、先生のご自宅に孤独な時間を埋める来訪者があったそうです。ミノムシとアリ―その小さな命を見つめてきたお話は、観察力と想像力

がたくさん詰まった、先生が紡がれる物語そのものでした。一方、学校の先生の指導によるのか、形式を揃えて書かれた子どもたちの手紙、そして首都高を走る車の中から見える直線的なビルのかたち―。「なぜみんな同じかたちなのかしら」。子どもの頃から想像力を働かせながら、幼少期を過ごした小岩の田園風景をそびえ立っていた先生にとっては、世の中にある画一的なもの不思議で仕方がないのかも知れません。自由なものが身の回りに少ない今の子どもたちの将来を真剣に案じていらっしやいました。

だからこそ、自由な発想を育む「幼年童話」の重要性を先生は説かれています。はじめて自分だけで一冊の本を読み切った感動をすべての子どもが持っています。それゆえ、その時期にもっともっと良い作品にめぐり合ってほしい。その思いで先生は夢のある作品を世に送り続けてくださっているのだと思いました。

幼年童話も収蔵される予定の、先生の思いがたくさん詰まった児童文学館が来年11月に江戸川区内に完成するそうです。先生が幼少の頃に過ごされた原風景で、子どもたちが目をキラキラさせながら本を読む姿が今から目に浮かぶようです。(構成/出版クラブだより編集部)